



上智大学イベロアメリカ研究所  
2024 年度活動報告  
(2024 年 4 月～2025 年 3 月)

No. 32 (2025 年 4 月)

§ 研究会

◆ 研究所共同研究「ラテンアメリカ諸国の独立を再考する」

研究代表者：岸川 毅

共同研究者：Nancy ALAS MORENO、Nilta DIAS、Nina HASEGAWA、幡谷則子、岸川 毅、子安昭子、  
宮入 亮、水谷裕佳、Mauro NEVES、田村梨花、谷 洋之、内村俊太、矢澤達宏

海外出張： Nilta DIAS (2月27日～3月22日) チリ、ブラジル

研究会： 9月19日「辺境から見直すコロンビアの独立後国家形成過程—ナリーニョ県太平洋岸地域を例に」

◆ ランチタイム・フリートーク

第 124 回 4月26日 幡谷則子「辺境に生きる人々—彼岸からみるコロンビア」

第 125 回 5月20日 Nancy ALAS MORENO 「Is presidential re-election really allowed in El Salvador? Considerations in light of the Constitution and the Supreme Court of Justice's rulings.」

第 126 回 6月7日 子安昭子「ブラジル ルーラ政権のメルコスール諸国との関係：グローバルサウスの視点から」

第 127 回 7月17日 宮入亮「両利きの抵抗としてのジョアン・カブラウ・ジ・メロ・ネットの作品—私のジョアン・カブラウ研究」

第 128 回 11月13日 Carlos AGUIAR DE MEDEIROS 「O Brasil de hoje」

第 129 回 12月13日 Andrés GONZÁLEZ MONTES DE OCA 「La imagen cultural de Japón a través de la cultura pop, un caso de estudio sobre las percepciones de los estudiantes latinoamericanos」

§ 公開講座「ラテンアメリカ・レクチャーシリーズ」

第 12 回 「Povos indígenas do Brasil: Uma visão histórico-sociocultural

／ブラジルの先住民：歴史的・社会文化的な視点から」

【コーディネーター・司会】 Nilta DIAS (イベロアメリカ研究所副所長・外国語学部准教授)

【翻訳者】 Gustavo MEIRELES (外国語学部ポルトガル語学科助教授)

◆ 6月12日 「Povos indígenas do Brasil: passado, presente e futuro／ブラジルの先住民：過去、現在、未来」

Márcio COUTO HENRIQUE (パラ連邦大学歴史学部・大学院哲学人文科学研究科  
歴史学専攻准教授)

◆ 6月19日 「Educação escolar indígena e ensino de história: memória e história na discussão sobre diversidade

／先住民の学校教育とブラジルの歴史教育：多様性に関する議論における記憶と歴史」

Taissa CORDEIRO BICHARA (パラ連邦大学大学院哲学人文科学研究科  
アマゾン地域歴史社会学専攻 博士課程)

◆ 6月26日 「Equívocos históricos sobre nós, povos indígenas／私たち先住民をめぐる歴史的な誤解」

Almires MARTINS MACHADO (グアラニ族およびテレナ族に属する先住民)

パラ連邦大学大学院法学研究科法学研究員)  
(オンライン開催)

## § 講演会

- ◆ 10月7日 「メキシコの自動車部門における日本の協力と支援産業」  
Leo GUZMÁN-ANAYA (グアダラハラ大学教授)  
María Guadalupe LUGO-SÁNCHEZ (グアダラハラ大学教授)  
司会: 岸川 毅 (イベロアメリカ研究所所長・総合グローバル学部教授)
  
- ◆ 11月8日 ワークショップ「変貌するサンパウロの東洋街」  
園田節子(立命館大学国際関係学部教授)  
長村裕佳子(ノートルダム清心女子大学国際文化学部講師)  
マウロ・ネーヴェス(イベロアメリカ研究所所員・外国語学部教授)  
司会: 岸川 毅 (イベロアメリカ研究所所長・総合グローバル学部教授)  
＜Sophia Open Research Weeks 参加企画＞  
＜主催:イベロアメリカ研究所、共催:科学研究費助成事業 基盤研究(A)「接近する東アジアとラテンアメリカ」、  
基盤研究(B)「越境政治の国際比較」＞(オンライン開催)
  
- ◆ 11月13日 「Relationship Between Brazil and China／ブラジルと中国の関係」  
Carlos AGUIAR DE MEDEIROS (リオデジャネイロ連邦大学名誉教授)  
司会: 岸川 毅(イベロアメリカ研究所所長・総合グローバル学部教授)  
＜主催:イベロアメリカ研究所、協力:ラテン・アメリカ政経学会＞
  
- ◆ 11月22日 「The Musical and Artistic Life of Chicano/Latinx People in the United States／アメリカ合衆国におけるチカーノ／ラティノーの人々の音楽・芸術活動」  
Steven LOZA (カリフォルニア大学ロサンゼルス校ハーブ・アルパート音楽学校教授)  
司会: 水谷裕佳 (イベロアメリカ研究所所員・グローバル教育センター教授)

## § 出版物

- ◆ 『2023 年度活動報告』 No. 31 (電子版のみ)
- ◆ *Boletín Informativo*, No. 69 (電子版のみ)
- ◆ 安江友里「地域に根差した機会を創造する若者たち—コロンビア、カリ市の民衆居住地を事例に一」  
(ラテンアメリカ研究 [ILA] No.47) (ISBN 978-4-904704-27-1)  
序章  
第Ⅰ章 コロンビアにおける紛争と暴力の歴史  
第Ⅱ章 カリの発展と民衆居住区の形成  
第Ⅲ章 民衆居住区における直接的・構造的暴力  
第Ⅳ章 若者の経験と実践  
第Ⅴ章 インターセクショナルリティ論から見る民衆居住区の若者たち  
終章  
参考文献
- ◆ *Encontros Lusófonos* (ISSN 1346-5058), No.26 (2024)  
論文  
屈辱と偏見への反撃—『サンパウロにシロはいない』におけるマージナル文学の貧困に対抗する語

り／宮入亮

Análise de representações do Brasil em manuais de PLA da Coreia do Sul e do Japão com base no modelo multidimensional e interculturalista/ Alexandre Ferreira Martins e Tábata Quintana Yonaha

研究ノート

移民の言語文化継承の過去・現在・未来:イタリア系ブラジル人継承ポルトガル語教師の経験から／拝野寿美子  
編集後記

◆ 『イベロアメリカ研究』 (ISSN 0388-1237)

・第46巻 特集号 (2024年度)

《日本ペルー修好150年—太平洋をつなぐ過去と未来—》

第46巻特集号の発刊に寄せて／谷洋之、村上勇介、岸川毅

偶然の出会いから戦略パートナーシップへ—修好150周年を振り返って—／遅野井茂雄

日本の自主外交の現れ? —フジモリの憲法停止措置(1992年)に対する日本の姿勢をめぐって—  
／村上勇介

真珠湾攻撃とペルー —リベラ公使による警告の神話—／村上勇介

日秘経済関係の構造変化／清水達也

ペルーの華僑華人社会 —越境する人と政治の歴史学的分析—／園田節子

日本とペルーの文化交流 —考古学研究の観点から—／関雄二

編集後記

・第46巻 第89号 (2024年度)

講 演

Cooperación japonesa y la industria de soporte en el sector automotriz mexicano / Leo GUZMÁN ANAYA, María Guadalupe LUGO SÁNCHEZ

論 文

The Chinese Rise and the Brazilian Economy: Opportunities and Challenges / Carlos AGUIAR DE MEDEIROS, Esther MAJEROWICZ

La hojarasca (anti) neoliberal. Las protestas social-populares en Brasil, Chile, Colombia y Argentina durante el año 2019/ Angélica GUNTURIZ, Juan Bautista LUCCA, José Francisco PUELLO-SOCARRÁS

ラディカル・ポピュリストの政治コミュニケーション—チャベス期ベネズエラのメディアと民主主義—／林和宏

オクタビオ・パス作品におけるメキシコ人女性:『孤独の迷宮』と『ソル・ファナ=イネス・デ・ラ・クルスの生涯—信仰の罫』をめぐって／洲崎圭子

研究ノート

連帯経済としてのフェアトレード—ボリビア先住民女性の事例—／猪岡愛佳

書評

Liao Shih-Ping 廖世秉主編『Raiz: História da Imigração Taiwanesa no Brasil 根: 巴西台湾移民史』(Liu Shie-Lin 劉学琳、2023年) 397p／長村裕佳子

古谷嘉章『憑依と語り アフロアマゾンニアン宗教の憑依文化』(九州大学出版会、2003年) 367p／河村留利

資料

ラテンアメリカ日誌—2023年7月～12月—

ラテンアメリカ日誌—2024年1月～6月—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

## § 来訪者

5月28日	ホンジュラス UNAH 国立自治大学一行
6月7日	Gonzalo Sebastián PAZ (ジョージタウン大学准教授)
9月18日	Carolina SALAZAR MARULANDA (コロンビア国立大学准教授)
1月29日	César Augusto MONTAÑO HUERTA (特命全権大使・エクアドル大使館) María Elena MOREIRA (公使・エクアドル大使館) Ñusta MALDONADO (一等書記官・エクアドル大使館)
2月14日	飯泉李子 (チリ、サンティアゴ大学人文学部言語文学学科翻訳課程助教)
2月27日	白方信行 (特命全権大使・在ベリーズ日本大使館)

## § 図書室

蔵書数：41,322 冊 (和書 4,957 冊、洋書 36,365 冊)  
 購入図書：258 冊 (和書 39 冊、洋書 219 冊)  
 受贈図書：43 冊 (和書 7 冊、洋書 36 冊)  
 受入継続雑誌：24 点、うち洋雑誌 15 点

## § 人事

- ◆ 客員所員 大越翼、Bernat MARTÍ OROVAL、大場樹精 (任期 4 月 1 日～3 月 31 日)。
- ◆ 準所員 藤井礼奈、村瀬幸代、齋藤亜子 (任期 4 月 1 日～3 月 31 日)。
- ◆ 客員研究員 Andrés GONZÁLEZ MONTES DE OCA  
 (9 月 30 日～12 月 20 日、2025 年 1 月 15 日～4 月 10 日)。  
 Leo GUZMÁN-ANAYA (10 月 4 日～10 月 16 日)。  
 María Guadalupe LUGO-SÁNCHEZ (10 月 4 日～10 月 16 日)。

## § その他のラテンアメリカに関する所員業績 (ABC 順)

### ◆ ALAS MORENO, Nancy Eunice

4月1日 ～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「国際商事 ADR に関するグローバル原則」の探求、日本学術振興会 科学研究費助成事業 (基盤研究(A)、研究課題番号: 22H00045、研究代表者: 高杉直[同志社大学])、2022/4/1～2027/3/31。
5月21日	論文	“Is presidential re-election really allowed in El Salvador? Constitutional Analysis and Supreme Court Rulings.” <i>Revista Euro Latinoamericana de Análisis Social y Político (RELASP)</i> , 4 (8), 109–133. < <a href="https://doi.org/10.35305/rr.v4i8.129">https://doi.org/10.35305/rr.v4i8.129</a> >
3月21日	学会報告	“From Habeas Corpus to Habeas SNS: Resorting to the Criticism of Users of Social Network Services in Countries with a Weakened Justice System: The Case of El Salvador.” The Global Summit on Constitutionalism, the University of Texas at Austin, United States.

### ◆ DIAS, Nilta

4月24日	講演 コーディネーター・実施	在日ブラジル人学校向け先住民族に関するオンライン活動 “Canções amazônicas como instrumento de protesto e afirmação indígena” 講演者: Jessica Maria DE QUEIROZ COSTA (パラ連邦大学)、協力: Taissa BICHARA (パラ連邦大学)
6月28日	講演	京都外国語大学ラテンアメリカ研究センター主催 第 22 回ラテンアメリカ教養講座『アフロ・ラテンミュージック on Friday Night』「ブラジル音楽 Forró とダンス」

7月20日	パネルディスカッション	ブラジル総領事館(東京・名古屋・浜松)開催「教育フェア 2024」、日本の大学のブラジル人教員によるパネルディスカッション“Estudantes brasileiros em universidades japonesas”参加
8月5日 ～9月1日	現地調査	ブラジルおよびペルー、フィールドワーク(上智大学教育イノベーションプログラム)
10月17日	講演	“Relações culturais entre Brasil e Japão: a importância da língua portuguesa”. II Fórum de Pesquisadores e Comunidade Brasileira no Japão – Ciência: uma ponte entre línguas e linguagens – 主催: Associação de pesquisadores brasileiros no Japão (ABrJ)、ブラジル大使館
11月14日	オンライン講演	“A escola japonesa frente à diversidade religiosa e de gênero”. EduTalkes #14、主催: Associação de pesquisadores brasileiros no Japão (ABrJ)
11月20日	博士論文発表	“Migración transnacional y educación: Un análisis de experiencias socioeducativas de jóvenes brasileños en Japón”. Doctorado en Estudios Sociales de América Latina, Línea de Investigación en Socio-antropología de la educación. Centro de Estudios Avanzados, Facultad de Ciencias Sociales, Universidad Nacional de Córdoba, Argentina.
1月28 ～2月4日	現地調査	日伯学長会議(ブラジル・サンパウロ) St. Nicholas 学校訪問、研修ツアー: アリアンサ農園
2月12日、 2月19日	国内ブラジル人学校訪問	12日: Instituto Educacional TS Recreação 19日: EAS Rede Pitágoras (午前中)、Instituto Educacional Gente Miúda (午後) (上智大学教育イノベーションプログラム)
2月27日 ～3月22日	現地調査	ブラジル(マツグロソ州)とチリ(サンティアゴ、コンセプション、イースター島)の先住民の教育と日常生活に関するフィールドワーク

◆HASEGAWA, Nina

10月10日	発表	“¿Cuántos estilos de escritura es posible identificar? (バネガス=アロヨ社の児童向け小冊子の諸文体についての考察)”, Seminario Impresos Populares A. Vanegas Arroyo (El Colegio de San Luis, A.C., San Luis Potosí, México).
--------	----	---

◆幡谷 則子

8月4日 ～8月15日	出張	「ホンジュラス UNHA の国際協力修士プログラムの強化プロジェクト」に関する会議出席、現地調査および学生指導。
8月8日	共編著	『辺境からコロンビアを見る—可視性と周縁性の相克—』上智大学出版(p.3-52, 114-139, 229-247)
8月16日～ 9月8日	現地調査	日本学術振興会科学研究費補助金「辺境コミュニティの排除と包摂—紛争後コロンビアにおける社会的主体の創生」のコロンビア、フォローアップ調査。ボゴタ、ナリーニョ県トゥマコ、ボリバル県カルタヘナ、ラ・グアヒラ県リオアチャ。
11月28日	オンライン講演	「3年目を迎えたコロンビア・ペトロ政権の改革の課題—辺境アプローチの視点も踏まえて」日本コロンビア友好協会主催(オンライン講演会)
3月12日	論文	「コロンビアの辺境における領域概念—その社会運動の目的と表象に関する予備的考察—」上智大学外国語学部紀要 第59号、1-26ページ。

◆岸川 毅

4月1日 ～3月31日	研究代表者	「接近する東アジアとラテンアメリカ—新たな太平洋世界の形成—」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(A)、課題番号:23H00041)、2023/4/1～2027/3/31。
5月25日	論説	「対外関係:中南米」中国研究所編『中国年鑑 2024』、中国研究所、明石書店、147-148 ページ。
1月14日	論説	「ブラジルのルーラ外交が目指す多元的国際秩序:なぜ中国と共鳴するのか」nippon.com(電子版) *次が同記事の英語版。 < <a href="https://www.nippon.com/ja/in-depth/d01094/">https://www.nippon.com/ja/in-depth/d01094/</a> >
2月21日	論説	“What Makes the Brazil-China Partnership Tick? Lula's Multilateral Diplomacy in Context,” nippon.com (on line). *上記記事の英語版 < <a href="https://www.nippon.com/en/in-depth/d01094/">https://www.nippon.com/en/in-depth/d01094/</a> >
11月16日	学会報告	「中台米の外交競争とドミニカ共和国の選択」、日本国際政治学会 2024 年研究大会、札幌コンベンションセンター。
6月17日	講演	「従属論を生んだラテンアメリカが模索する新たな方向性」かわさき市民アカデミー。
8月18日～ 9月7日	現地調査	チリ、アルゼンチン。上記科研基盤研究(A)の為の東アジア・ラテンアメリカ関係に関する聞き取りと資料収集。
2月18日～ 3月6日	現地調査	グアテマラ。上記科研基盤研究(A)の為の東アジア・ラテンアメリカ関係に関する聞き取りと資料収集。

◆子安 昭子

4月1日 ～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「接近する東アジアとラテンアメリカ—新たな太平洋世界の形成—」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(A)、課題番号:23H00041、研究代表者:岸川毅[上智大学])、2023/4/1～2027/3/31。
5月20日	講演	日・メルコスール関係の現状と課題(日本貿易会ゼミナール)
7月17日	講演	G20 サミットを控えたブラジルの内外事情(世界政経調査会 国際情勢研究所)
8月18日～ 8月28日	現地調査	チリ・サンチアゴ。上記科研基盤研究(A)の為の現地調査。
1月28日～ 2月4日	出張	ブラジル・サンパウロ。日伯学長会議。
3月7日	論文	「ルーラ現政権下で迎える日伯130周年(2025年)—グローバルサウスとしてのブラジルとどう向き合うか」『ブラジル特報』(1685号)6-7 ページ。

◆宮入 亮

3月12日	論文	「貧者の勝利あるいは囚われの道化—アリアーノ・スアスーナの『コンパデシーダの戯曲』における条件づけられた貧困」『上智大学外国語学部紀要』第59号、55—85 ページ。
3月29日	発表	ギマランイス・ホーザ「アウグスト・マトラーガ」研究 日本ラテンアメリカ学会、研究交流イベント、於:上智大学

◆水谷 裕佳

4月1日 ～3月31日	研究代表者	「太平洋およびメキシコ湾の洋上を含めた現代の米国メキシコ境界地域に関する包括的研究」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)、研究課題番号:19K12531)、2019/4/1～2025/3/31。
----------------	-------	--

4月1日 ～3月31日	研究代表者	「米国領内の先住民コミュニティによるアクセスが困難な場の文化や記憶の表象と継承」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)、研究課題番号:23K11565)、2023/4/1～2027/3/31。
3月31日	論文	「多様な人や機関が支える資料返還—博物館から先住民民族ヤキ集落への『戦士の帰還』を事例とした考察」山崎幸治、伊藤敦規編著『先住民との「協働」研究』北海道大学アイヌ・先住民研究センター、pp.19-33。ISBN 978-4-907256-13-5

◆NEVES, Mauro

4月1日 ～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「接近する東アジアとラテンアメリカ—新たな太平洋世界の形成—」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(A)、課題番号:23H00041、研究代表者:岸川毅[上智大学])、2023/4/1～2027/3/31。
8月13日 ～9月12日	出張・現地調査	現地調査およびブラジル大学とカンピナス大学の研究者と意見交換。
9月5日	講演	“Considerações sobre o cenário atual da música pop asiática”(カンピナス大学リメイラキャンパス社会学部)
10月26日	講演	「ブラジルのポップカルチャー:テレノベラとポピュラー音楽を例として」(立教大学ラテンアメリカ研究所第54回現代のラテンアメリカ公開講演会)

◆田村 梨花

4月1日 ～3月31日	研究代表者	「社会的公正と多様性の尊重に資する教育改革とノンフォーマル教育:ブラジルの事例」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)、研究課題番号:24K05751)、2024/4/1～2027/3/31。
5月10日	編著書	「第3章 社会的公正への挑戦」(137-186 ページ) 「コラム 3-1 先住民の暮らしと権利」(148-150 ページ) 田村梨花・三田千代子・拝野寿美子・渡会環/共編『ブラジルの人と社会 改訂版』上智大学出版
7月20日	オンライン 講演	『ノンフォーマル教育』から学ぶ食と農と私のつながりFFPJ(家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン Family Farming Platform Japan)第31回講座「編著者と語るシリーズ第2弾 ほんどうのグローバリゼーションってなに？」
8月21日～ 8月31日	現地調査	ブラジル(サンパウロ)、ペルー(リマ、クスコ)現地調査・インタビュー (上智大学教育イノベーション・プログラム【フィールドワークシリーズ】「日本のなかの地域/地域のなかの日本」による調査)
9月1日～ 9月16日	現地調査	ブラジル(サンパウロ、ベレン)現地調査・インタビュー 上記科研基盤研究(C)による調査
1月25日	共著	「コラム 33 ブラジルの民衆教育」丸山英樹・太田美幸編『増補改訂版 ノンフォーマル教育の可能性—リアルな生活に根ざす教育へ—』新評論、204-208 ページ。 ISBN 978-4-7948-1279-7.
1月25日	共著	「コラム 36 『もう一つの世界』のための教育—世界社会フォーラムと世界教育フォーラム」丸山英樹・太田美幸編『増補改訂版 ノンフォーマル教育の可能性—リアルな生活に根ざす教育へ—』新評論、223-226 ページ。ISBN 978-4-7948-1279-7.
1月25日	共著	「コミュニティ研究とフィールド調査(第9章 ノンフォーマル教育研究へのアプローチ)」丸山英樹・太田美幸編『増補改訂版 ノンフォーマル教育の可能性—リアルな生活に根ざす教育へ—』新評論、293-297 ページ。ISBN 978-4-7948-1279-7.

## ◆谷 洋之

4月1日 ～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「接近する東アジアとラテンアメリカ—新たな太平洋世界の形成—」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(A)、課題番号:23H00041、研究代表者:岸川毅[上智大学])、2023/4/1～2027/3/31。
8月18日 ～9月10日	出張	チリ、アルゼンチン。上記科研基盤研究(A)の為の東アジア・ラテンアメリカ関係に関する聞き取りと資料収集。
3月3日	翻訳	ディエゴ・サンチェス＝アンコチェア『不平等のコスト:ラテンアメリカから世界への教訓と警告』東京外国語大学出版会(内山直子・東京外国語大学大学院准教授との共訳)。

## ◆内村 俊太

12月10日	分担執筆	岩井淳編『複合国家から読み解く世界史—「国民国家史観」再考』山川出版社、2024年(第3章「大航海時代のスペイン—地中海から大西洋世界へ」44-55ページ)ISBN 978-4-634-67264-2。
--------	------	---

## ◆矢澤 達宏

4月1日 ～3月31日	研究代表者	「旧ポルトガル領アフリカにおける反植民地主義言説の再検討—アフリカ人新聞の分析から」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)、研究課題番号:20K12353)、2020/4/1～2025/3/31
10月23日 ～11月15日	現地調査	ブラジル連邦共和国(サンパウロ、サルヴァドール、リオデジャネイロ)

**上智大学イベロアメリカ研究所**

〒102-8554  
東京都千代田区紀尾井町 7-1

Tel. 03-3238-3530  
E-mail: [ibero@sophia.ac.jp](mailto:ibero@sophia.ac.jp)  
URL: <http://dept.sophia.ac.jp/is/ibero>

所長 岸川 毅  
副所長 Nilta DIAS  
正所員 Nancy Eunice ALAS MORENO  
Nina HASEGAWA  
幡谷則子  
子安昭子  
宮入 亮  
水谷裕佳  
Mauro NEVES  
田村梨花  
谷 洋之  
内村俊太  
矢澤達宏  
名誉所員 堀坂浩太郎  
Osvaldo HURTADO  
今井圭子  
三田千代子  
清水憲男  
高山智博  
Helena TOIDA  
吉川恵美子